

開全機植え田ける駆水面水

あさげ新聞



千石平にも田植えのシーズンがやってきました。

あさげの里でも今年導入した赤と白のツートンカラーの五条田植え機が、千石平の水田をカエルのように泳ぐがごとく、緑の苗をスイスイと植え付けて行きます。

(右の写真は、新しい田植え機を慎重に操縦する農職人。)

1. 稲作事業

- ・育苗ハウスの水と温度管理
- ・畔の草刈りと給排水口の整備
- ・肥料撒きと耕起
- ・代掻きと除草剤散布
- ・田植えと植え直し

2. 園芸事業

【野菜栽培】

- ・ナス、ピーマン、ミニトマト、キュウリ、トウガラシの畝づくり、定植、支柱立て
- ・サツマイモ畝立て
- ・ヤツガシラ、トウガラシ、セロリ、モロッコ畝立てと定植
- ・大玉トマトをハウス内に定植
- ・ピーマン、キュウリの消毒
- ・レタスの収穫とおせんしょ市場へ

提供

【トウモロコシ栽培】

- ・新規借用畑への肥料撒きと耕起とマルチ張り
- ・定植
- ・ゴールドラッシュ用畑の肥料蒔きと耕起
- ・マルチ張り
- ・定植
- ・あんみつ姫の種撒きと新規借用畑への定植
- ・アナトン撤去と殺虫剤散布

【ほおずき栽培】

- ・JAほおずき栽培指導会へ参加
- ・ほおずき畑の草取りとアナトン撤去

3. 薬草事業

【センブリ栽培（三次）】

- ・有孔ポリフィルムと遮光ネット撤去
- 4. 山菜事業
- ・新規にわらび畑の借用

5. 蕁細工事業

- ・ネットシヨップ向け小物の製作

6. 他のお仕事

- ・JGAP認証に向けて、QCGによる管理方法と適合基準の打合せを行いました。

稲作事業

代かき

新野の各農家さんの田植えも進み、あさげの里のたんぼも田植えが急がれますが、野菜やとうもろこしもまったく無しの状況にあり、時間と人を上手く融通しながら、五月十七日からようやく代掻きが始まりました。

今年、大型特殊免許を取得した女性ドライバーが三十三馬力の大型トラクターに勇ましく騎乗し、一町四反歩の田んぼを見る見るうちに水田に変えてゆきます。

【女性ドライバーによる代かき】



田植え

代掻きが終ると除草剤を散布し、

地域共生推進室 発行
【20号】
2022年6月2日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com

・味噌作りに向けて、向山会長より味噌樽をお借りしました。
【お借りした味噌樽】



園芸事業

野菜栽培

まだ寒い三月中旬に種撒きした夏野菜も、ビニールハウスで順調に育ち、そろそろ畑に移植する時期になってきました。

連休も明けた五月十日から、農工の職人さんの支援をもらい、新しく借用した畑の畝立てを行いました。マルチ張りをした後、各種ナス三百九本、ピーマン百二本、ミニトマト七十二本、キュウリ二百十六本、トウガラシ三十本の苗を定植しました。

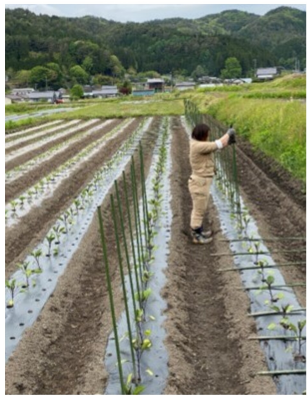
【苗の定植が終った畑】



少し置いてから土の表面がギリギリ出るまで落水させ、田植えができる状態になります。
今年初めて導入した五条植え乗田植え機がいよいよ始動します。
五月二十三日、白毛餅から田植えが始まりました。白毛餅九十ト、コシヒカリ二百トの苗箱を五日間掛かって田植えを行いました。
【田植え機への苗の補充作業】



定植が終った翌日、苗の倒伏を防ぐ為、支柱をそれぞれに立て、その支柱に苗を括りつけました。
【苗毎の支柱立作業】



キュウリは、特別にパイプをアーチ状に組み上げてからネットを張り、ツルが巻きつけられるキュウリ専用の棚を作りました。
【ネットを張ったキュウリ棚】



とうもろこし栽培

五月十二日、道の駅「蔵」南側に新しく借用した畑に、全長七十メートルの畝を十五畝作りマルチを敷きました。

【新規借用畑でのマルチ張り】



センブリ栽培

五月三十日、センブリの芽が一センチメートルになり根も張ったので、保温用に掛けておいた遮光ネットを撤去しました。昨年より播種量を三割減らした為か、発芽密度は低いように見えます。また、今年は暖かく雨の日が多いのか、ゼニゴケが一月早く繁殖しセンブリの発芽に障害が出ないか心配です。今年は病害が発生しないよう、遮光ネットの裾上げや早めの消毒を行います。
【遮光ネットの撤去と裾上げ】



【ゼニゴケの繁殖】



おせんしょ市場の初出荷

五月三十日から、レタスをかわきりにおせんしょ市場へ順次夏野菜の提供を始めました。



による根腐れが心配です。

【ぬかるみ畑でとうもろこしの定植】

